



神奈川スバル株式会社

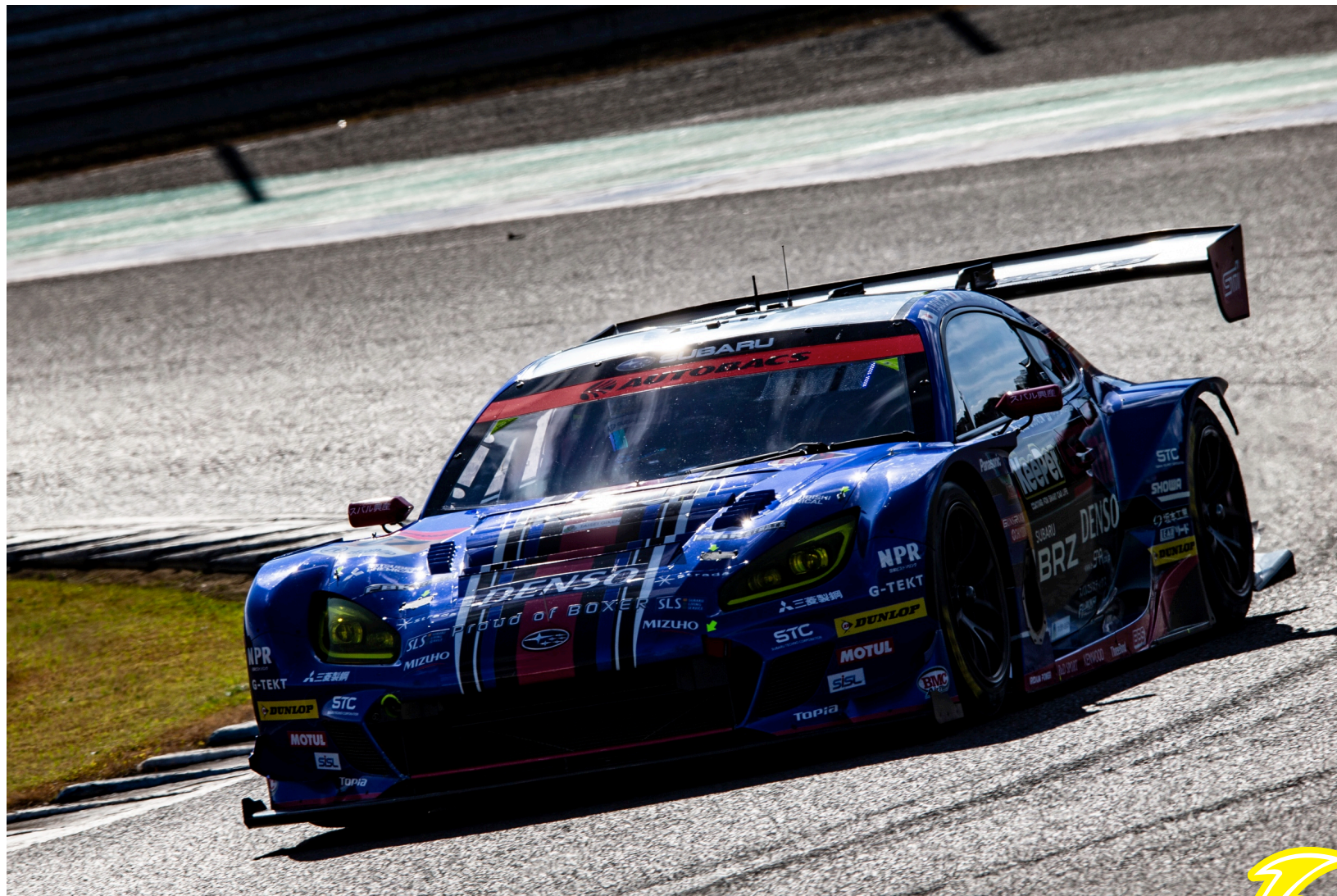


RA SURTEES



AUTOBACS SUPER GT

Round7 ツインリンク茂木 RACE





神奈川スバル株式会社



<公式練習 / 8位>

シリーズトップで迎える大事な1戦。前回の第4戦で行われた茂木では、ポイント圏外と少しセットを外すと速さを出せないBRZ。入念に打合せをしてセットアップ、そしてタイヤを選んでいきます。2日間通して天候は晴れ。来られるお客様にとっても良い天候日和でした。まずは、タイヤの2セットの確認後に、セットアップを進めていきます。重量が他車より重く、前回のレースよりも30キロ以上重いために、セットアップにも苦労をしました。ただタイヤのグリップは高いが、それを車側で使い切れていない感覚があり、バネレートを大きく硬い方向に持っていくことで解消され、予選もより硬い方に持っていけば問題ないと思いました。決勝のバランスも合わせ込むことができ、自信を持って挑める体制となりました。残り時間は、井口選手でタイヤの摩耗度合いをロングで確認してもらいました。





神奈川スバル株式会社



<公式予選 / 2位>

今回もQ1を担当してくれるのは、井口選手です。練習から更にマシンのセットアップを変更していき、少しQ1を見るのも緊張しましたが、無事に3番手でQ1を通過。

井口選手のコメントからもマシンのバランスは良いという判断なので、Q2にかけてのアジャストはせず、同じパッケージでQ2のアタックに挑みました。

Q2が始まり、計測2周目でアタックに入ります。路面コンディションも良くなっているため、練習走行よりもブレーキングの位置など奥まで飛び込めるようになっていました。

全てのタイミングを合わせ込むことができ、重量が重たい中でも2番手を獲得することができました。0.015秒差でトップを取られてしまいましたが、現状の重たいことを考えれば、良いポジションからスタートできるので、決勝は前に立てるように頑張りたいと思います。





神奈川スバル株式会社



<決勝 / 6位>

今回決勝のスタートを担当するのは、自分(山内英輝)です。今回のチームからの使命は、トップのNSXを抜いてくること。トップスピードでは、7キロ速いマシン。なので、タイヤが冷えているうちのスタートで前に出ない限り、とても難しいです。なので、スタートがとても重要になりました。そのスタートでは、タイミングもばっちり合わせることができ、スタート直後の1コーナーでトップをパス。そこから後ろを引き離して行くことに成功し、途中までトップを快走していましたが、やはり重量も重たいのもあり、フロントタイヤの落ちも大きく出てきました。半分辺りで、ブリヂストンタイヤを履くNSXのペースが速く、パスされてしまいます。これで順位は2番手。すぐ後ろにはランボルギーニも追ってきています。何とかランボルギーニは押え込み、ポジション2番手をキープして33周走りきり井口選手と交代します。残りは29周です。





神奈川スバル株式会社



ここで何とライバル勢は、無交換作戦で数台自分達の前に出られてしまいます。

またシリーズでも争っている56号車のGTRにも前に出られてしまいます。ただ自分達は新しいタイヤなので、何とか最初に仕掛ければ何とかなるかもしれないと思いましたが、ストレートの速度差が大きく前に出る所か、後ろの2輪交換のランボルギーニを押え込むのに精一杯な戦いでした。その間に56号車も淡々と逃げてしまい、少し苦しい展開に。残り6周まで井口選手も頑張ってくれていましたが、500車両に道を譲ったタイミングでミスが出てしまい、単独スピンでポジションを6位まで落としてしまいます。その後、前を追いかけますが、届かず6位で決勝を終えました。シリーズも2位とは、6点差まで縮められましたが、攻めた結果のミス。次戦に切り替えて、最終戦はポールを取って1ポイントを取り、決勝も優勝できるように集中して挑みたいと思います。しっかり準備をして最終戦富士に挑みます。引き続き頑張りますので、ご声援の方よろしくお願い致します。

